

口唇ヘルペスの症状



ムズムズ、ピリピリした
違和感

赤くはれて水ぶくれの後
かさぶたができる

また、最近若者の半数程度が抗体を持っていないので、初感染すると重症化（水疱の多発、発熱、あごの下のリンパ節の腫れなど）することがあり注意が必要です。

「再発のきざしに気づいたら、すぐに医師の診断を受けましょう。初期段階(図左)に抗ウイルス薬の飲み薬を服用することが重要です。症状が出現のウイリルスが活性化しているときに治療のよい機会です。」

くちびるの周囲に小さな水ぶくれができて、再発を繰り返すことがあり、またはII型の感染が原因です。この症状について、「立川皮膚科クリニック」の伊東秀記院長に聞きました。「この症状は、口唇ヘルペス」と思われます。単に再発の原因は？「感染後のウイリルスは、頸部の三叉(さんさん)神経節に潜伏して人間と共存しています。体の免疫力が低下すると、ウイリルスが他へ移ろうとして再活性化し、口唇ヘルペスなどとして現れます」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2016年2月20日付 「リビング多摩」に掲載されました